

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 マジックリンス
 会社名 都インキ株式会社
 住所 大阪府大阪市鶴見区放出東 1-7-13
 担当部門 技術課
 担当者 中田 敦嗣
 電話番号 06-6961-0101
 FAX 番号 06-6961-0303
 緊急連絡先 同上
 整理番号 Z-53-02

2. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区分：混合物

成分及び含有量

化学名	含有量 (%)	化学式	官報公示No. (化審法)	CAS No.
留出石油系炭化水素*	80%	—	—	64742-47-8
乳化剤	20%	—	—	—

() : 化学物質排出把握管理促進法 第1種指定化学物質 政令番号

※ : 化学物質排出把握管理促進法 第1種指定化学物質

● : 有機溶剤中毒予防規則 第2種有機溶剤

* : 労働安全衛生法通知対象物質

毒劇法の該非：非該当

3. 危険有害性の要約

最重要危険有害性

有害性：健康に有害であり、急性又は慢性中毒の恐れがある。

有機溶剤中毒を起こす恐れがある。

発ガン性の疑いがある物質を含有している。

変異原性が認められた物質を含有している。

* 本製品は塗膜はく離剤として調整されているため、接触による人体被害は、構成成分単体から予測させるよりも甚大となる可能性を有している。

分類の名称 (分類基準は日本方式)：急性毒性物質、その他の有害性物質

4. 応急措置

目に入った場合 : 直ちに清浄な流水で15分以上洗眼する。まぶたの裏まで完全に洗う。
 できるだけ速く医師の手当てを受ける。

皮膚に付着した場合 : 大量の水及び石鹼又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。外観に変化が見られるか、痛みがある場合は医師の手当てを受ける。

吸入した場合 : 直ちに被災者を新鮮な空気のある場所に移し、体を毛布等で覆い保温して安静にする。
 呼吸が弱い場合または呼吸が停止している場合は、衣類を緩め気道を確認した上で直ちに人工呼吸を行い、医師の手当てを受ける。

飲み込んだ場合 : 揮発性液体なので無理に吐かせてはいけない。
 直ちに医師の手当てを受ける。
 水でよく口の中を洗わせてもよい。
 意識のない被災者には口から何も与えてはならない。

5. 火災時の措置

消火方法：初期の火災には、粉末、炭酸ガス、乾燥砂等により消火する。
 大規模火災の際には泡消化剤を用いて空気を遮断する方法が有効である。
 棒状水の使用はかえって火災を拡大する恐れがあり危険である。
 周辺の設定などに散水して冷却する。

消火を行なう者の保護

- ・消火作業の際には必ず保護具を着用し、風下で作業しない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項

- ・風下の人を退避させる。漏出した場所の周囲にはロープを張るなどして人の立ち入りを禁止する。付近の着火源となるものを速やかに取り除く。
- ・作業の際には、必ず適切な保護具を着用し、風下で作業しない。
- ・回収作業においては、火花を発生しない安全なシャベル等を使用する。
- ・漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
- ・屋内の場合には、処理が終了するまで十分に換気を行なう。

環境に対する注意事項

- ・河川等へ排出されないように注意する。

除去方法

- ・土砂、オガクズ、ウエス等に吸収させて回収する。大量の流出には盛土などで流出を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

火気、静電気、衝撃火花等による着火源が生じないように注意する。漏洩させないようにするとともに、みだりに蒸気を発生させない。接触、吸入の防止のため取扱い時には、保護具を着用する。取扱いは換気の良い場所で行う。取扱いの都度、容器を密栓する。静電気対策のために装置、機械等の接地を確実にを行う。電気機器類は防爆型のもを使用する。

保管

- ・容器は密栓して、直射日光を避け換気良好な冷暗所に貯蔵する。
- ・消防法の基準に基づき保管する。(危険物第4類に該当するので、同第2類内の引火性固体との同時保管は禁止されている)

8. 曝露防止措置

設備対策：密閉された装置、機器又は局所排気装置を使用しなければならない。

取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設ける。

保護具

- 目の保護：保護眼鏡（ゴーグル）を着用する。
 皮膚の保護：耐油性の手袋、保護長靴、保護服、保護前掛けを着用する。
 呼吸系の保護：有機ガス用防毒マスクを着用する。
 密閉された場所では、送気マスクを着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

概観：無色液体

物理的、化学的性質

融点：-65℃以下

比重：0.81以下(15/4℃)

初留点：200℃以上

引火点：60℃

爆発限界：データなし

酸化性：なし

可燃性：あり

発火性：なし

自己反応性・爆発性：蒸気密度は空気より重く低所に滞留して爆発性混合ガスを形成しやすい。

安定性・反応性：通常の手取り扱いにおいては安定である。

1 0.安定性及び反応性

安定性・反応性：標準的条件では危険な反応はしない。

接触により危険性のある物質は特にない。

危険有害な分解生成物：燃焼により、塩素系ガス、CO 等有害ガスが発生する。

1 1.有害性情報

刺激性（皮膚、目）：皮膚に対して一次の刺激作用はあるが、皮膚からの吸収による全身中毒の可能性は低い。

その他：情報はない

1 2.環境影響情報

分解性：情報はない

蓄積性：コイを「MITI」法で試験した結果、濃縮の程度は中であった。

魚毒性：情報はない

その他：なし

1 3.廃棄上の注意

廃棄は産業廃棄物処理基準に従って焼却によって行い、ケイソウ土等に吸着させて開放型の焼却炉で少量ずつ焼却するか、焼却炉の火室へ噴霧し焼却する。

容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。

外部委託の場合は、廃油（引火性）であることを明記し、都道府県知事の認可を受けた産業廃棄物処理業者に委託し、関係法令を遵守して適正に処理する。

その他、引火性、有害性液体の一般的な注意事項によるほか、当データシートの取扱い、保管上の注意事項参照のこと。

1 4.輸送上の注意

- ・陸上輸送 消防法（第2石油類）

貯蔵制限：容器の内容積の98%以下であって、かつ55℃において漏れないよう十分な空間容積を有すること。

容器表示：第4類第2石油類、危険等級Ⅲ、火気厳禁

積載制限：運搬時の容積積み重ね高さは3m以下

混載禁止：第1類及び第6類、高圧ガス

- ・海上輸送においては、船舶安全法の定めるところに従う。
- ・航空輸送においては、航空法の定めるところに従う。

1 5.適用法令

- ・労働安全衛生法
- ・消防法（第4類 第2石油類）
- ・船舶安全法
- ・海洋汚染防止法
- ・化学物質排出把握管理促進法：該当しない

1 6.その他の情報

参考情報

- 1) 「溶剤ポケットブック」 有機合成化学協会編
- 2) 製品安全データシートの作製指針 社団法人 日本化学工業協会発行
- 3) 原材料のMSDS

問合せ先

担当部門 当社 技術課

電話番号 06-6961-0101 FAX 番号 06-6961-0303

* 「製品安全データシート」の記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、法令の改正や、新しい知見により改訂されることがあります。

本製品を取扱う場合は、記載内容を参考にして、使用者の責任において実態に即した安全対策を講じて下さい。

また、注意事項は通常の手扱いを対象としたものですので、特別な取り扱いをする場合には、新たな用途、用法に適した安全対策を実施の上、お取扱いをお願いします。

本データシートは、安全や品質の保証書ではありません。